

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年9月25日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4697200014
法人名	株式会社 EGUCHI
事業所名	グループホーム あじさい
所在地	鹿児島県肝属郡東串良町池之原1998番地1 (電話) 0994-63-5919
自己評価作成日	平成30年7月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年9月12日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様がいつも笑顔で楽しく暮らしていただけるよう、職員は楽しい雰囲気作りに努めています。また、自宅で生活していたように自由でご本人流の暮らしができるように、できる限り利用者様の意思や希望に添えるような介護を心がけています。心身機能低下予防のためドライブや外出の機会を増やし、歩行の機会や季節を感じられるような場を提供していくことができるように努めています。

- ・「ルーピン畑」「桜のある公園」「近隣の海岸」「ピーマン狩り」などを通して地域の方との交流が多く測れる場所に出かけるなど生き甲斐を見出せて頂けるケアを目指しています。
- ・職員が動きやすい環境が整えられるよう取締役と相談、改善が図られています。
- ・医療機関の連携による健康管理、日々の健康観察にて体調異常の早期発見に努めご利用者様の健康維持に努めている。
- ・施設の勉強会や研修などに参加、職員個々の啓発に努めています。
- ・災害時の避難場所に位置づけられています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、母体法人が同一敷地内に有料老人ホームを中心にデイサービス等の施設がある。法人内の事業所と合同のイベントや研修会の実施、厨房への調理委託等で日頃から協力関係を築いている。
- ・自治会に加入し、地域行事の文化祭や体育祭、法人の秋祭りで地域住民と交流している。法人のイベントに地域から芸能ボランティアの参加がある他、老人会のボランティアグループが掃除や草取りなどで来訪したり、青年部からの野菜の差し入れもあるなど、地域との密接な交流が行われている。
- ・看護師の配置やかかりつけ医への職員同行受診、緊急時の対応など、医療機関との連携・協力体制が整っている。家族等の意向に沿って看取り介護にも取り組んでいる。
- ・法人及びホームでの研修を計画的に実施して職員の質の向上を図り、利用者一人ひとりの状況に応じて支援できるようケアの方向性を統一して取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	社長を交え職員全体で作成した理念を年1回の見直しを行い改善を図っている。また、毎月のミーティングの中で理念に元づくケアの内容、職員全体で話し合い、理念の実践に向けて取り組む	理念は毎年見直しており、現在の理念も以前に見直したものである。リビングに理念を掲示し、毎月のミーティング時にケアを振り返り理念の実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩に出かけ挨拶をかわしたり、関係作りができるようなじみの店を作り定期的に出かけたり、地域の行事には積極的に参加している。またホームの事や介護保険などの相談など誠意をもって支援を行っている。	福祉大会や体育祭等の地域行事への参加や老人会等のボランティア受け入れで住民と交流する機会が多い。法人のイベントへの住民参加や住民からの野菜・花の差し入れ等、相互に積極的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	災害時の避難所として頂けるように地域と連携を図っている。緊急処置法の研修を職員全員が受講及び地域の方々の方々の力になれるように努めている。認知症の啓発に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者の健康状態やサービス状況だけにとどまらず施設サービスの要望、助言お時間を設け意見交換を行っている。検討項目については経過を報告一つ一つ積み上げるようにしている。</p>	<p>2ヶ月に1回の運営推進会議で、ヒヤリハット・事故を含めたホームの状況報告と意見交換を行っている。行政からの情報や助言を受ける機会でもあり、家族からの相談や要望等も出され、意見をサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>経営者、管理者、CMは市町村へ出向き担当者との交流を図り事業所の考え、運営親現場の実績を伝える場を作っている。また相談はその都度、市町村へ出向き行うようにしている。</p>	<p>町の担当者とは、運営推進会議での意見交換や窓口に出向いて相談しながら協力関係を築いている。生活保護担当者や警察署とも、老人虐待や生活保護・成年後見制度利用について連携・協力して取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束員会を設置、身体拘束廃止に向けた取り組みを月1回は委員会を開催している。ケア会議等で</p>	<p>ホームでも委員会を設置し、毎月1回のケア会議時に身体拘束のグレーゾーンの検討・意見交換をしている。不適切なことば使いは気づいたら管理者から注意し、外に出ていく利用者には職員が付き添っており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	年間研修計画の中で、高齢者虐待防止研修を計画している。ケア会議などの機会において常時話し合いの機会を設け、身体拘束に向けた取り組みを実践している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	新人職員においては外部研修の機会を設け学びの場を提供する事に努めている。必要な時に支援がスムーズに行える様に啓発している。現在、対象者はいない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約には十分な時間が取れるように配慮させていただき、また、解りやすい言葉で丁寧な説明を心掛けている。一つ一つの項目ごとに不明な点等確認しながら		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様やご家族の不満苦情については、真摯に受け止めその都度、職員で話し合いを行いご家族様のご理解を得られるように努めています。	利用者には日常の会話等で意見等を聞いている。家族には、運営推進会議や家族会で意見等を出してもらったり、アンケートや電話報告・面会時にも要望等を聞いている。出された要望等は、職員で検討し運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ケア会議や勉強会、各委員会を定期的に行うなど、コミュニケーション容易にはかれる工夫に努めている。</p>	<p>管理者は、日頃から気軽に意見を出せる雰囲気作りに努めており、毎月のケア会議や各委員会時に業務改善等に関する意見交換を活発に行って、担当業務だけでなく協力して業務を行えるように全員の意思統一を図っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>ミーティング、勉強会、各各委員会を定期的に行うことを計画、介護の質の向上が図れるように努めている。また、個々の職員に応じた学びの機会を提供できるように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間計画を立て職員の経験や役割に応じた研修受講を提案、受講者を選出している。受講者は定例会やケア会議などで情報の共有が図れる機会を設けている。必要に応じ外部講師の公演を受講するなど知識、技術の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域グループホーム協議会に入会。研修会や事例検討会などを通じ、同業者との交流を持ち介護サービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービスの利用について相談があった場合は、可能な限り事前面談としてご本人の生活の場でお会いし、生活状況、心身の状態、本人、家族の思いに向き合い受け止めることができるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>初めてサービスの相談に来られた際は、最初から利用の相談を勧めていくのではなく、家族の思いに寄り添いコミュニケーションを大切に家族の困りごとや不安なことを話せる環境を作りゆっくり聞くように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時本人や家族の思い状況などを確認し、ゆっくりと話を聞いた上で必要なサービスが提供できるように努めている。必要があればほかの事業所とも連携が図れることをお伝え、より良いサービス提供に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家事全般にわたってできることを一緒に行うように努めている。昔の習慣や知識を拝聴しながら共に支え合う関係を築いていけるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>職員は利用者様の担当を定めている。家族の思いに寄り添い日々の暮らしの出来事や気付きの出来事の共有に努め、本院をご家族と一緒に支える思いで支援することに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人がこれまで大切にしていた場所や馴染みの関係を把握し関係が途切れることが無いように向いたり、訪問していただくなどの支援を努めている。</p>	<p>自宅訪問や受診に職員が同行したり、家族と一緒に買い物や外食・受診に出かけている。家族等の面会以外にも入居前からの知人等の定期的な来訪もあり、本人がこれまで大切にしてきた人や関係を継続できるよう、支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>同町内でもあり昔ながらの顔なじみの方もあり関係性を把握、共通の趣味や面会ができるようテーブルの位置を工夫するなど配慮している。独立しがちな利用者様には職員が間に立ち、課わりを持てるようにしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了後にも必要に応じて本院と面会をしたり、家族にその後の状況をお尋ねするなど必要に応じて相談や支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の言動や表情を観察し、思いや以降の把握に努めている。毎日の記録に気づきを残し職員全員が情報の共有に努めている。何でも話せる環境を提供できる雰囲気作りに心掛けている。	家族や主治医・看護師・入居前の利用サービス職員等からの情報を参考にしながら、会話や表情・仕草・行動等を観察して本人の思いを把握するように努めている。得られた情報は、職員全員が記録で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始の面談や会話から聞き取りを行いご家族や以前利用していた事業書やケアマネなどからの情報を得るなどしている。生活歴や価値観等暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	夜勤者から夜勤の状態を聞き取る、本人に声掛け会話や動作の七なら状態を把握するように努めている。出来ない事より出来る事に注目し、全体の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族の意向や要望を聞き取りやケア会議などで担当職員の意見、医師の指示やモニタリングを反映した介護作成している。また、定期的にケア会議で再確認を行い、その意義や必要性について話し合いを行っている。	把握した本人・家族の要望等を基に、ケア会議で検討して介護計画を作成している。連絡帳やケア会議で経過を見ながら3ヶ月に1回モニタリングを実施し、6ヶ月後に計画を見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録にして、日々の身体状況や暮らしの様子、本人の言葉やエピソードなどを記録に残し全職員がいつでも確認できるようにしている。また朝夕の業務開始前にxちゆしや申し送りノート確認を義務図付けている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の要望に応じて通院や外出の支援、行政との連携など柔軟に対応している。利用者様が入院時は介護情報の提示を必ず行い、医療機関との連携を図り早期退院に向けた支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>本人やご家族の意見、必要性に応じて民政委員、ボランティア等との交流や共同に努めている。地域の事業所や商工会、町内会などの交流の機会を継続して持てるようにしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人やご家族が希望するかかりつけ医を受信できるようにしており、依頼があれば受診介助を行いバイタルチェックや状態観察などを把握して医師に報告、適切な医療が受けられるように支援していく。</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援しており、管理者等が同行して主治医との連携を図っている。ホームの看護師による健康管理や主治医及び協力医療機関との医療連携体制により、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ご利用者様の体調不良や急変時は必ず看護職員と連携をとり適切な対応ができるように努め利用。日々の体調観察、訪問看護等との連携に手体調管理を行い適切な医療が受けられるように支援することに努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時等は早期にホームでの情報を提示するように努めている。また、できる限り面会をお行い環境の変化にともなう機能低下を軽減できるように努めている。入用機関や家族との連携を密に行い早期退院に向けた情報提供を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>必要に応じ出来るだけ早い時期にご家族や主治医と話し合いの場を設け、その時々に応じご家族、ご利用者様の意向を確認しながら対応を図っている最大のケアについて説明を行っている。</p>	<p>契約時に、看取りを含めた重度化等の場合のホームの対応について説明している。状況の変化に応じ特別養護老人ホーム・入院等の選択肢についても説明し、家族の意向を確認しながら支援に取り組んでいる。看取りの事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ケア会議時や必要に応じて緊急時マニュアルに沿って勉強会を実施、急変時に迅速に対応できるように啓発している。また、マニュアルの見直しを随時行い最良の行動が出来るように努めている。</p>	/	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力のもと年2回の消防訓練や救命救急訓練を実施している。運営推進会にて地域住民の協力を呼びかけ、協力者を得ている。また、地域の避難所としての受け入れを指定を受け入れ地域との協力関係を築けるよう努めている。</p>	<p>消防署の立ち合いで年2回の避難訓練を夜間想定で実施している。地域住民の参加協力があり、隣接有料老人ホームとは緊急時の連絡体制を構築している。災害用の備蓄は同一敷地内の事務所で一括して行っており、ホームでは米・缶詰・麦茶及びカセットコンロを準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉使いや声かけに際し、利用意思向上や具体的な対応方法についてはケア会議などにおいて話し合いを行っている。研修においても人格尊厳の重要性を学んでいる。	マニュアルを基に、研修会を開催し職員の理解を深めている。入室時には声掛けをしたり、排泄介助時にはさり気ない声かけ等、一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声掛けや対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日課を優先するのではなく、ご本人の希望を聞き優先して行えるようにしている。支援の中で自己決定が容易に行えるような声かけに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的に一日の流れはあるが、時間を区切った過ごし方はしていない。一人一人の体調などに考慮し出来るだけ個別性のある支援を行うようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみやおしゃれについては、出来る限り本人の意向を尊重し決めていただくようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の好みを把握し誕生日や行事に提供している。お盆拭きテーブル拭き食材の盛り付け、配膳やおやつづくりは一緒に行っている。	法人の栄養・食事委員会で要望を伝え、調理は厨房に委託している。おやつと誕生日のケーキはホームで作っており、利用者はテーブル拭きやおやつ配りなどを手伝っている。手作りおやつや年3回の外食等、食べる楽しみも工夫して取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	咀嚼や嚥下状態に応じて食事の形態を主治医、訪問歯科医との連携を図りこの状態に応じた安全な食事形態で提供している。栄養士の作成した献立で提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔衛生管理指導を導入。食後3回の歯磨を行い義歯の消毒を毎晩行っている。訪問歯科による健康管理を定期的実施。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的な排泄誘導を行い、トイレで自立に向けた支援を行っている。またそれぞれの排泄状態に応じたセルフケアを行っている。排泄管理を行い心身の状態と排泄の関連性を考慮し観察している。	一人ひとりの排泄パターンを把握しており、声掛けや誘導でトイレでの排泄を支援している。個々の身体状況等に合わせて、オムツや夜間のポータブルトイレも使用している。トイレでの排泄が難しい状況であっても、本人の「トイレで排泄したい」という思いを大事に支援している事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食前に白湯を飲んでいただいている。また便通に良い食材等を取り入れている。この状態に応じ主治医と相談服薬介助を行っている。適度な運動をオ行い便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴介助を行っている。希望時や保清保持必要時は随時入浴を行なえる様にしている。記録に残し定期的な入浴を行う事で保清と爽快感を得られるようにしている。	週3回の入浴を基本に午前中に実施しており、失禁等の場合は、状況によってシャワー浴や入浴を行って保清に努めている。入浴を嫌がる場合はタイミングを見て声掛けしている。年1回は温泉を貸し切り、ゆっくり楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムが整えられる様日中はできる限り活動を促しているが、日中も急速がとれるように支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情をファイリング、全職員が薬の内容を把握できるような環境を提供している。個々の薬箱を準備、配薬～服薬まで2人で3回以上の確認、誤薬防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>家事活動において利用者様の知恵や経験を発揮できる場面を作れるよう努めている。外食やドライブ、温泉入浴、誕生会、行事等に参加楽しみを共有し気分転換が図れるように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>本人の体調や希望に応じ施設周囲の散歩や買い物と一緒にいく等日常的に出かける機会を多く持てるように支援している。</p>	<p>日常的には庭や周辺を、車椅子の利用者も含め散歩している。年間計画で初詣や季節の花見・地域行事・温泉・外食等に出かけている。受診や墓参り・自宅訪問にも同行している。家族と買い物や外食等で出かける利用者もあり、できるだけ出かけられるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分の財布からお金を出し支払いができて社会性の維持に繋がられる支援に努めている。利用者様の希望や力に応じた支援をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>状況に応じて、ご本人、ご家族の希望がある場合などは何時でも出電話や手紙等のやり取りができるように支援している。毎月新聞を発行近況を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>環境整備を行い生活同線が安全に行え、調理の音や香りなどが家庭的な雰囲気でも過ごせるよう配慮されている。玄関には四季折々の花が楽しめ季節を楽しんでいただけるよう努力している。</p>	<p>リビングはゆったりとした広さで、3ヶ所の天窓からの採光で明るく室温等も適度に調節されている。和室もある。壁には季節感のある手作りの作品が飾られている。リビングを中心に居室やトイレが配置され、職員の目が全体に届いて、利用者が安全に過ごせる空間になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居室は個室。自由に模様替えや掲事物を飾れるようになっている。毎日環境整備を行い安全に過ごせるように環境づくりに努めてる。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>それぞれの利用者様の好みや馴染みのものを家族に用意していただいたり、生活に応じ必要な物を職員で用意するなど、居心地の良い生活が送れるように努力している。</p>	<p>居室にはベッドと洗面台が設けられており、災害時等は掃き出し窓から外に出られる。利用者の好みや必要に応じて、タンスや衣装掛け等の家具を持ち込んだり、ぬいぐるみや写真・作品を飾り、本人が安心して過ごせるように工夫されている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室や浴室、トイレなどご利用者様が自立した生活が安全に行えるように手すりを設置、安全に日課ができるよう椅子の配置、場所の表示、足元の灯を取り入れる等安全に活動でき、自立支援に繋がるよう努めている。また、ご利用者様の状態に応じ福祉用具を取り入れている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない